

第2回定例研究会

コンテンポラリー・ダンス。きらめく身体。

第2回定例研究会は、Shahar Binyamini：バットシェバ舞踊団の シャハー・ビンヤミニ 先生をお招きし、「コンテンポラリー・ダンス。きらめく身体。」というテーマで講演いただきました。

講師

シャハー・ビンヤミニ 氏 (Shahar Binyamini: バットシェバ舞踊団)

指定討論者

砂連 尾理 氏 (舞踊家)

鞍掛 綾子 氏 (Gaga Japan)

コーディネーター

村越 直子 (武庫川女子大学健康・スポーツ科学部講師・生活美学研究所研究員)

テーマ

コンテンポラリー・ダンス。きらめく身体。

講演日

※申し込み不要

2014 年 9 月 20 日 (土) 17:30 ～ 19:30 受付開始 17:00～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 西ホール

※駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用ください

問い合わせ先

武庫川女子大学生生活美学研究所

TEL：0798-67-1291

FAX：0798-67-1503

【講師プロフィール】

1988 年イスラエル生まれ。

18 歳でバットシェバ・アンサンプルに参加。その後 2006 年にバットシェバ舞踊団に入団し、現在も主要メンバーとして活躍中。
各国でバットシェバ舞踊団芸術監督オハッド・ナハリンの作品の振りうつしも担う、優れた GAGA 教師でもある。



生活美学研究所
MIE

NEWS LETTER Vol. 103

第 2 回定例研究会
(通称 103 回)

2014/9/20(土)
17:30-19:30

生活美学研究所は 6 年度の
年間統一テーマは「愛(きん、
きらめき)」です。

**「コンテンポラリー・ダンス。
きらめく身体。」**



photo credit: Ascaf.



photo credit: Gadi Dagon.

コンテンポラリー・ダンス作品は、どのような過程を経て舞台で演じられているのでしょうか。ダンサーのからだから放たれる瞬間の美、それを生み出す感性。そして作品として紡ぎ出す振付師とダンサーとの交流について、イスラエルのバットシェバ舞踊団で活躍中のシャハー・ビンヤミニ氏に、身体技法 Gaga との繋がりとともに話をいただきます。

※ 研究所の学号をご覧ください ※ <http://www.mukogawa-u.ac.jp/~seikaku/>

料金別納
郵便

POST CARD

平成26年度 生活美学研究所 第2回定例研究会

「コンテンポラリー・ダンス。きらめく身体。」

日時：2014年9月20日(土)17:30～19:30 (受付開始17:00)

場所：武庫川女子大学 甲子園会館 西ホール ※申込不要

※駐車場がございませんので、会場の交通機関でお越しください。

講師：シャハー・ビンヤミニ
(Shahar Binyamini : バットシェバ舞踊団)

【プロフィール】
1988年イスラエル生まれ。18歳でバットシェバ・アンサンプルに参加。その後2006年にバットシェバ舞踊団に入団し、現在も主要メンバーとして活躍中。各国でバットシェバ舞踊団芸術監督オハッド・ナハリンの作品の振りうつしも担う、優れたGAGA教師でもある。

指定討論者1：砂流尾理 (舞踊家)、柳井綾子 (Gaga Japan)

通訳：柳井綾子、司会/コーディネーター：村越直子

※軽装動きます。動きやすい服装でお越しください。

※開催時間にご注意ください。

2014年8月20日発行 第103号 発行：武庫川女子大学生活美学研究所
〒663-8121 兵庫県西宮市戸崎町1-13 (最寄駅：JR「甲子園口」駅)
TEL: 0798-67-1291 (内線72-311) FAX: 0798-67-1503